

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第10号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



ジャズダンス部
撮影：作業療法学科2年阿久津直子(写真部)
ステージを意識し、何よりも自分達が楽しみ、それを伝えられる、何かを感じてもらえるDANCEを求める活動をしたい。(理学療法学科2年藤井雅子)

＝ 目 次 ＝

ページ	ページ
特集“風花祭”・・・1～3	学科・センターだより・・・5
出来事・・・4	看護学科・・・5
学長の日程から・・・4	理学療法学科・・・5
大学来訪者・・・4	作業療法学科・・・5
お知らせ・・・4	言語聴覚障害学科・・・5
入試事務室から・・・4	放射線・情報科学科・・・5
委員会報告・・・4	語学教育センター・・・6
学生部だより・・・4	医学教育センター・・・6
教務委員会・・・4	教員紹介・・・6
紀要委員会・・・4	編集後記・・・6



撮影：作業療法学科2年武井由美(写真部)

撮影：作業療法学科2年河崎直文（写真部）



学長挨拶

撮影：作業療法学科2年河崎直文（写真部）



大田原市長と話そう

政治をやっている人の考えと
いうものを見て感じることが
できました。
(作業療法学科2年佐々木洋明)

撮影：看護学科2年吉田裕美（写真部）



室内楽コンサート（オーケストラ部）

第1回 1996年10月26日(土)、27日(日)開催
来場者約2000名

風花祭

撮影：教務課川野研



感動！「ハンセン病の歴史を語る」講演会

「おおるい会」では、「ハンセン病の歴史を語る」と題した、ハンセン病資料館運営委員の平沢保治さんの講演会を企画しました。平沢さんの自らのハンセン病による差別や偏見の体験談は、聴講者一人一人の胸の奥まで響きました。

(作業療法学科2年青柳由美子)

撮影：看護学科2年吉田裕美（写真部）



撮影：教務課川野研



消化器系の入り口（看護学科）

撮影：作業療法学科2年川堂祐二（写真部）



初めての車いすバスケットボール

頸髄損傷者の車いすバスケットボールチーム対IUHWバスケットチームの試合が行われました。IUHWの選手は慣れない車いすに四苦八苦しながらもドリブル、パスをこなすシュートも何本か決めました。重度なハンディをもっていても障害を越えて楽しめるスポーツの素晴らしさを改めて感じ、感激しました。
(言語聴覚療法学科1年島岡良治、同学科2年塩水早香子)（バスケットボール部）

撮影：作業療法学科2年川堂祐二（写真部）



安心して老いたあなたへ～看護学科映画上映会から～

今日の日本は、高齢者社会に突入し、人々を戸惑わせています。そこで私達は、映画「安心して老いるために」の上映と、撮影舞台となった岐阜県池田町の現状を、実際に訪ねた学生による発表を行いました。

映画も学生も、池田町の優れた介護体制を絶賛しましたが、「何時、何処で年老いて動けなくなっても、ほけても、良い介護を受けられる保障」はないのが日本の現状です。今回は「安心して老いるために」何をなすべきか見つめることができました。

(看護学科1年金井和夫)

撮影：作業療法学科2年岡久津直子（写真部）



「天使にラブソングを」'96
（作業療法学科2年浜達也）

撮影：作業療法学科2年岡久津直子（写真部）



吹奏楽部と手話研究部のジョイントコンサート
「抱いささ」「LOVE LOVE LOVE」の2曲をプラス
の伴奏、手話付きで歌い、暖かい拍手を戴きました。
〔言語聴覚障害者学科2年半山淳一、同学科2年宛越美帆〕

撮影：作業療法学科2年岡久津直子（写真部）



映画「金色のクジラ」を見て～テクニカルعيد研究部上映会から
これは、小学4年生の少年が白血病と戦う弟に、自分の骨髄を提供し、弟の命を救うという物語です。私は、数年前から骨髄バンクには関心があり、機会があればドナーに登録しようと考えています。しかし心のどこかでそれを拒否する自分がいて、結局勇気の出ないままです。今回の映画はそんな私に忘れかけていたことを再認識させてくれました。それは一人の人間の生命の重さです。
（理学療法学科1年瀬下寛之）

撮影：放射線・情報科学科1年鈴木真徳（写真部）



コーラの一気に飲み

家田荘子さんの講演を聞いて心に残った言葉

あるエイズ感染者の言葉：何より人間として普通に接してほしい。残された人生を人のために生きることが大切。
家田荘子さんの言葉：エイズに感染した女性のボランティアを通して、悲しい事実を再認識した。何よりも彼女をエイズで失う事が恐ろしかった。今回の講演を聞いて、日頃私達の周りにもっといろいろなタイプの人がいれば違和感が減ってお互いに理解しあえるのではないかと感じました。
〔放射線・情報科学科1年安藤幸子〕

文芸部の広島風お好み焼きはおいしかったですか？
文芸部は文芸誌「感傷」とともに、広島風お好み焼きをひき上げて出店。多くのサークルのひしめく中、お好み焼きも上々の人気でしたが、着物を着た文芸部長（わたくし）も、「いつ見ても気持ち悪い」となかなかの評判でした。来年はどんな変人変人が出てくるのでしょうか？
（作業療法学科1年砂野寛基）

撮影：作業療法学科2年沼田豊文（写真部）



模擬店の台所

撮影：言語聴覚障害者学科2年小林弘佳（写真部）



大学祭実行委員会委員長 風花祭を振り返る

私の一番の心配は天気のことでした。1日目は曇りでしたが、2日目は天気に恵まれました。もう一つは、納得できる風花祭をつくり上げることができるか不安でした。しかし、全員が協力、団結し一緒になって盛り上げて下さったおかげで200%の成功を収めることができましたと思います。皆さんおつかれさまでした。
（理学療法学科1年村野勇）

出来事

◇学長の日程から

- *平成8年9月28日(土)
朝日福祉フォーラム講演(北九州国際会議場)
- *平成8年10月1日(火)
星塚自治会50周年記念式典講演(鹿児島)
- *平成8年10月3日(木)
精神保健連絡協議会講演(宇都宮市)
- *平成8年10月19日(土)
全腎協法人設立記念式典講演
- *平成8年10月22日(火)
滋賀県高齢化対策審議会

◇大学来訪者

- *平成8年10月1日(火)
同和火災海上保険 石井利宏企画部長
- *平成8年10月2日(水)
厚生省 篠崎英夫障害保健福祉部長
栃木県 瀬上清貴保健福祉部長
- *平成8年10月8日(火)
フランスベッドメディカルサービス 池田茂社長
- *平成8年10月11日(金)
アメリカンファミリー生命保険 大竹美喜会長
- *平成8年10月31日(木)
同和火災海上保険 岡崎真雄社長

お知らせ

◇入試事務室から

97年 保健学部入試日程のお知らせ

試験区分	願書受付期間	試験日	合格発表	入学時期	
特別選抜入試 (大田原会場)	平成8年12月27日(土) ↓ 平成9年1月23日(土) 【印刷有効】	平成8年1月15日(土)	平成9年1月30日(土)	平成9年1月31日(土) ↓ 平成9年2月6日(土) 【印刷有効】	
一般入試	(A日程) 社会会場 東京会場	平成9年1月8日(土)	平成9年2月3日(水) 午前11時 【本学発表】	平成9年2月14日(日)	
	(B日程) 大田原会場 名古屋会場 福岡会場	平成9年1月23日(土) 【印刷有効】		平成9年2月20日(日) 【印刷有効】	
	後期日程	大田原会場	平成9年2月28日(土)	平成9年3月20日(土) 午前11時 【本学発表】	平成9年3月25日(木)
			平成9年3月7日(土) 【印刷有効】		平成9年3月29日(日) 【印刷有効】

委員会報告

◇学生部だより

- 1) 交通安全教室が開催される。
10月15日に大田原警察署の交通課長さんのお話がありました。
334名の参加があり、受講できない人もみられた様

子です。現在、交通事故が多発しています。交通規則を守り、安全運転を心掛けましょう。

2) 大学祭(風花祭)開催される。

10月26、27日に第1回の大学祭が開催されました。26日は大田原市の千保市長との討論会、27日は作家家田荘子氏の特別講演などがありました。小、中、高校生、地域の多数の方々に参加頂きました。ご協力いただきました関係各位の皆様には感謝いたします。

3) 同和火災海上保険の奨学金・研究助成決る。

損害保険大手の同和火災海上保険が、平成9年度より本学の学生を対象に奨学金を提供して下さることになり、10月31日、同社の岡崎真雄社長他がご来校、本学において調印式が執り行われました。



本奨学金は、同社が本学建学の趣旨である「21世紀の保健・医療・福祉分野における人材育成」に賛同、同社創立100周年事業の一環として創設されました。本学学生に対する育英奨学金として、初年度500万円、以後毎年500万円ずつ増額し、平成12年度からは毎年2,000万円をご提供いただくことになっています。また、来年度創設予定の「国際医療福祉総合研究所」の研究に対しても、3年間にわたり毎年500万円の助成をいただくこととなっています。

◇教務委員会

教員研修プログラムのスタート

本学は医療保健福祉関連職種を育てる総合大学としてスタートし、早や2年が経過しつつあります。

大学の自己評価機能の一環として、教員による本学の教育のあり方を中心テーマとする教員研修プログラムをスタートするべき時期にもあります。とりわけ、さまざまな専門教育がただ集合しているということではなく、総合性という理念を実現する教育のあり方などは、早い時期に取り組みなければならないテーマでもあります。平成8年度は春季休み中の実施を旨とし、以降は夏季休み中に定期的実施する計画です。

◇紀要委員会

平成7年度紀要第1巻については最終的な印刷段階にあります。第1巻に投稿されました著者の先生方には近々に校正をお願いいたします。また、既にご案内しております平成8年度紀要第2巻については、論文投稿希望の再調査に基づいて投稿者の確認を行いました。なお、今回から投稿論文第1頁に題名、著者名、所属等を記入する書式を定め、投稿論文に添付していただくことになりました。

学科・センターだより

看護学科

2年生は、夏休みが終わったと同時に看護実習に入っています。実習場所は、老人保健施設マロニエ苑と特別養護老人ホーム板の実荘です。

8日間にわたって、学生個々が1人のケースを担当させていただき、「看護からみると高齢者ってどんな人？担当した高齢者はどんな看護ケアを必要としているのかな？そして、実際にケアする」ことを学んでいます。お世話しようと張り切っていたら「自分でできるからけっこうです」と断わられてガッカリしたり、痴呆症高齢者の理解しがたい言動に戸惑ったり、お元気なのに家庭に帰れない事情が分ったり、毎日新しい学びの連続です。教員も学生の真摯な姿勢に励まされてがんばっています。(福島道子)

◇理学療法学科

- A「先月は茨城県立とサッカーしたな。引き分けに持ち込んだけれど、建物で負けたな。」
 B「放射線科と野球の試合もやったね。前は勝ったけれど、今度は負けちゃったね。1勝1敗か。」
 A「文化祭も張り切り過ぎたな。ひとしの部屋で楽々ダイエットだったか？」
 B「何か違うような？でも時間の無いのに皆良くがんばったね。今後の予定はと・・・んー。」
 A「それじゃ週末。おまえは10キロだったな。おれはフルに出るから。んじゃ」(窪川 徹)

◇作業療法学科

- 10月26日・27日に行われた「風花祭」では、本学科学生も大活躍。実行委員会の委員、作業体験コーナーの指導者、お好み焼き屋のお兄さん・お姉さん、はたまたゴスペルシンガー等々、皆いくつもの顔を使い分けて、充実した2日間を過ごした様子です。これらの経験で学生たちは一回りも二回りも大きくなった事でしょう。
- 大きくなったところで本格的な勉学の季節到来。神戸大学の古川宏教授、札幌医科大学の矢谷令子教授、アメリカからはリン安田先生を迎えての授業も開始。「さすが国際医療福祉大の学生は違う」と感じていただけるかどうか。結果は次号にて。

(下田信明)

◇言語聴覚障害学科

風花祭に「オイデアメアゲル」

風花祭初日の午後、A棟4階のトイレ前には長蛇の列が出来ていた。「まさか屋台の何かが…」と筆者は焦った。しかしそれは、トイレ前に掲げられたクイズ

ラリーの問題に群がる少年少女の列であった。一方ある教室からは何やら呪文を唱える女性たちの声、そしてそれに真剣に耳を傾ける若人が数名。果たしてその正体は、同時に喋る数人の声を聞き分け、物語の内容を記述するという聖徳太子顔負けの競技であった。「オイデアメアゲル」という怪しげな張り紙に魅せられ言語聴覚障害学科の展示発表を見に来て下さった皆さん、どうもありがとうございます。(植田 恵)

◇放射線・情報科学科

KAZAHANA-SAI

The "Kazahana-Sai" was held on 26th and 27th of October 1996. "Kazahana" means, if it is literary translated, "snow-flakes blown off by the sudden gusty wind from the Nasu mountains.

Total of 104 students from the freshman and sophomore co-eds of the Department of Radiological Sciences participated the event. The students body consists of those voluntary students. They selected the coordinators and planned the entire programs. And they delegated the assignments to each student for the two-day events.

On the first floor of the building "C", the expensive and most recent high technology radiologic equipments are installed. The students body decided to choose only seven instruments for the demonstration or display purposes. These are X-ray fluoroscope, Ultrasound echo imaging, CT, MRI, X-ray machine, Digital processing for imaging, and video display.

Of the seven selected instruments, there are two popular modalities (instruments). One is MRI and the other is Ultrasound echo machine. Both machines are harmless to the human bodies.

The first day was the cold, cloudy and windy day. Despite the poor weather, the two machines were busy with the guests. The visitors were fascinated by looking at their own transverse section of anatomical images of the brain or at their heart beats without surgical operation. Their photographs of the brain or the heart were given to them as souvenir and were much appreciated.

The second day was a beautiful day, and the exhibition was much more crowded than the first day. The students were working hard and responded promptly the questions asked by the visitors. There were 40 by MRI and 100 by Ultrasound during the two-day exhibition. (Motoji Makino)

言語教育センター

アルプスの少女ハイジ

アニメ「アルプスの少女ハイジ」がスイスで放映されていると友人から聞いたのは、今から10数年前のことである。今夏、ウィーン滞在中にホテルでテレビを見ていて、その同じ「ハイジ」に出会った。日本研究をしているオーストラリア人青年に尋ねると、それが日本製であることを知っていた。日本語を学ぶようになってからそれを知りショックだったという。彼も子供時代を「ハイジ」を見ながら過ごしたからだ。ドイツ語吹き替えとはいえ、彼らにとって異質なものは皆無なのだろうか。異文化との接触による驚きのうちに学の端緒も存在しようが、こうした事態はこれまで予想できなかった。翌日、やはりテレビを見ていて驚いた。富士山を背景に、若者達が海岸を走るアニメの画面から聞こえてきたのは「アタック・ナンバーワン」の主題歌だった。(森田耕喜)

医学教育センター

センター会議では授業の在り方について話し合いが行われています。学生からは分かりやすい授業の要望がありますが、今回はこれについて考えてみましょう。現状では学生の学力にかなりの幅がある上に、4年制の医療福祉大学に適合した医学教育のレベルを維持するという目標もあるので、教員はそれらを念頭に置いて努力しています。しかし授業に当たって教育効果の評価と反省が無ければ、その教育は教員の自己満足だけのものとなってしまいます。教育は教員と学生の協力のもとに成立するものですから、授業内容や方法について学生から出された要望や意見を授業にフィードバックさせることが大切です。機会があるごとに積極的に申し出てくれることを期待します。

(中野康平)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

中野康平(なかの こうへい)



①医学教育センター・特任教授、②1926年6月11日、③東大医学部医学科(旧制)、④微生物学、原虫学、免疫学、⑤自治医科大学(名誉教授)、⑥中野康平他：医動物学教室開設以来、コンサルテーションおよび報告のあった寄生虫病および衛生動物性疾患についての集計と考察 自治医大紀要14

:78-83, 1991、⑦微生物学、一般臨床医学(感染症、免疫)、⑧郊外散歩、史跡・資料館見学

田中 繁(たなか しげる)



①作業療法学科・教授、②19??年2月4日(弘田美枝子と同じ日)、③千葉大学、④人間工学、⑤帝京大学医学部、⑥立位平衡機能の総合的解析(学位論文)、⑦人間工学、医用・福祉機器概論、研究法概論、⑧喫煙者を責めること

横関路子(よこせき みちこ)



①語学教育センター・講師、②1956年、③コロンビア大学大学院ティーチャーズ・カレッジ、④英語教育、⑤ALLEX外語専門学校、⑥SLA in a Natural Setting and Formal Instruction: Looking at Affective Variables (Avon Books)、⑦英語(LL, Reading, Integrated English)、⑧地図収集、地図を眺めること

久保 晃(くぼ あきら)



①理学療法学科・講師、②1960年7月24日、③筑波大学大学院教育研究科、④理学療法(老人、体力、心肺機能等)、⑤東京都老人医療センター理学療法科、⑥臨床における基礎的研究と学際性、⑦機能能力診断学、循環器系理学療法学、老人理学療法学、運動負荷学、身体運動学実習、運動生理学実習、機能能力診断学実習、卒業研究等、⑧ジャズ鑑賞(ピアノ中心のスタンダード)および観賞(山下洋輔など)、旅行

編集後記

開学2年目にして初めて開催した学園祭「風花祭」、大変盛り上がりました。本10号ではその雰囲気はいくらかでも伝えようと、皆様から記事と写真を募りました。

幸い多数の記事を応募いただきましたが、今度は掲載スペースが足りず、編集者の独断と偏見で選択させていただきました。また掲載した記事も一部文章を短縮、修正をさせていただきましたことを執筆者にお断りするとともに、掲載できなかった応募された方々にお詫言いたします。また定例の報告などの記事についても9号発行と同時の執筆依頼で1週間足らずの短期間に執筆いただきました。皆様ご協力ありがとうございました。

(熊野信雄)